

令和 7 年度

業 務 概 要 書

(公財) 高知県文化財団
高知県立坂本龍馬記念館

目 次

I 概 要	1
II 令和7年度の主な取り組み	3
III 事務分担表	8
IV 令和6年度事業実績	9
V 年度別・月別入館者数	24

I 概 要

1 設置目的

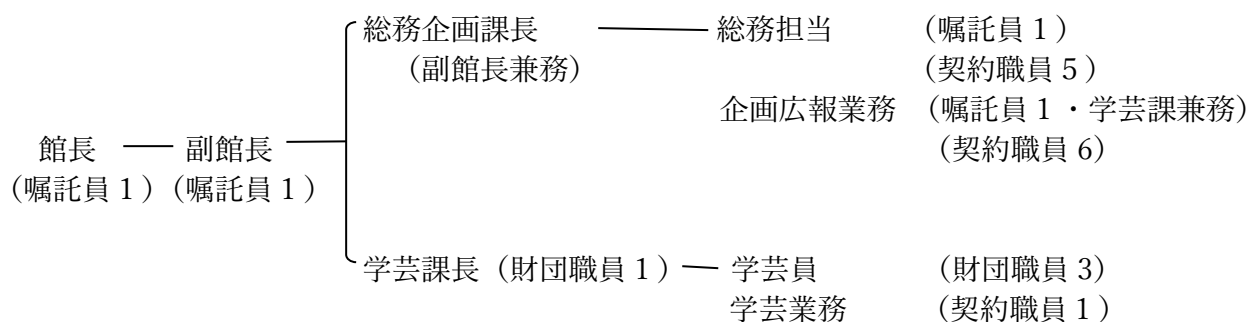
坂本龍馬に関する資料を収集し展示することにより、近代日本の黎明に生涯を捧げた坂本龍馬の業績を顕彰するために設置された。

2 沿 革

龍馬生誕150年の記念事業として、民間有志による実行委員会が募金を呼びかけ、県の助成金2億円を含め10億円の資金を集め、高知市の提供した長宗我部氏ゆかりの浦戸城跡の公園用地に、設計コンペで選ばれた斬新なデザインの記念館が誕生。その後県に寄贈され、県立坂本龍馬記念館として開館した。

昭和59年9月	龍馬生誕150年記念事業実行委員会発足翌年1月から募金活動始まる
昭和62年3月	坂本龍馬記念館の設計を公開競技とすることを決め、4月、運営を社団法人日本建築学会に委託
昭和62年11月	設計競技開始
昭和63年7月	設計競技第1次審査（応募総数475点）
昭和63年9月	設計競技第4次審査 最優秀賞に高橋晶子氏（横浜市）決定
平成2年4月	起工式 建築工事着手
平成3年6月	展示工事着手
平成3年8月	建築工事竣工
平成3年9月	高知県に寄付
平成3年10月	「高知県立坂本龍馬記念館の設置及び管理に関する条例」制定 (財)高知県文化財団に管理委託
平成3年10月	展示工事竣工
平成3年11月	開館（11月15日）
平成13年11月	開館10周年記念事業（11月15日～11月17日）
平成18年4月	(財)高知県文化財団を指定管理者に指定（3年間）
平成21年4月	公募により (財)高知県文化財団を指定管理者に指定（5年間）
平成23年5月	入館者数300万人達成（5月28日）
平成23年11月	開館20周年記念事業、シェイクハンド龍馬像除幕式（11月13日、15日）
平成25年12月	坂本龍馬記念館リニューアル基本構想検討委員会発足
平成26年4月	(公財)高知県文化財団を指定管理者に指定（5年間）
平成26年7月	「坂本龍馬記念館リニューアル基本構想」策定
平成27年6月	高知県立坂本龍馬記念館基本設計策定
平成28年10月	新館増築及び既存館改修工事着手・平成29年4月工事に伴う休館開始
平成29年9月	新館完成・平成29年10月既存館改修完了
平成30年4月	リニューアルオープン(4月21日)
平成30年7月	入館者400万人達成（7月15日）
令和元年4月	(公財)高知県文化財団を指定管理者に指定（5年間）
令和元年10月	国指定の重要文化財(京都国立博物館所蔵)初展示
令和2年10月	国指定の重要文化財(国立歴史民俗博物館所蔵)展示
令和3年10月	国指定の重要文化財(松浦武四郎記念館所蔵)展示
令和3年10月	開館30周年宮内庁所蔵「龍馬真筆書簡」特別展・同年11月同記念式典開催
令和5年2月	国指定の重要文化財(松浦武四郎記念館所蔵)展示
令和5年5月	国指定の重要文化財(高知県立高知城歴史博物館所蔵)展示
令和6年4月	(公財)高知県文化財団を指定管理者に指定（5年間）

3 業務執行体制（20名）



4 施設概要

(1) 施設概要

敷地面積 9,997.59㎡

構造 新館：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、地上2階地下1階
本館：鉄筋コンクリート造、地上2階、地下2階 / 既存館

建築面積 新館：1,085㎡ 本館：1,210㎡

延床面積 新館：2,024㎡ 本館：1,944㎡

(内訳)	新館	本館
地下2階	—	472㎡
地下1階	352㎡	512㎡
1階	733㎡	667㎡
2階	939㎡	245㎡
R F	—	48㎡

〈 展示・収蔵関係延床面積 〉

	新館	増築・改修前
常設展示室	384.56㎡	196.14㎡
企画展示室	105.42㎡	約80㎡
ジョン万次郎展示室	24.51㎡	—
収蔵庫	116.96㎡	8.52㎡

※常設展示室は前室を含めた床面積。ただし、本館の幕末広場・幕末写真館は含めない

(2) 館内案内

新館 1F 受付・ホール・シアターコーナー
2F 常設展示室・企画展示室・ジョン万次郎展示室
本館 2F 体験型展示「幕末広場」「海に見える・ぎゃらりい」
1F ミュージアムショップ
B1F 「図書コーナー」の他、土佐藩船「夕顔」の模型などの展示
B2F 「幕末写真館」幕末の人物約130人を写真で紹介

(3) 建設費

総工事費用(展示工事等含む) : 約26億2,500万円
うち、新館増築・本館改修工事費 : 約14億6,500万円

5 収蔵資料

＜主な真物資料＞

- ・ 龍馬直筆の手紙14点（寄託資料含む）
- ・ 海援隊約規（寄託資料）
- ・ 坂本龍馬宛木戸孝允書簡（慶応3年9月4日）
- ・ 坂本龍馬佩刀「備前長船勝光宗光」
- ・ 「漂異紀略」（寄託資料）、土佐藩京都藩邸史料 など

龍馬の縁戚である弘松家などからの寄託と、寄贈や購入・移管による龍馬直筆の書簡の合わせて14点と、海援隊約規や刀剣などの真物資料をはじめ、龍馬書簡の複製60点、文書2,047点、絵画23点、書軸69点、船舶模型3点など約5,000点を所蔵している。

II 令和7年度の主な取り組み

令和6年度は第5期指定管理事業計画の初年度で、開館以来のノウハウや収蔵資料群を活かしたインパクトのある企画展示をはじめ、学芸員による歴史の面白さを学ぶ体験型の企画や特別解説で巡る旅行ツアーの企画なども新たに展開し、事業活動のバージョンアップを進めた。

同計画の2年目となる令和7年度においても計画上の方針に沿いながら、新たな展示テーマや龍馬生誕190周年の機会も生かして龍馬研究と幕末史のアップデートを図り、龍馬顕彰施設としてのステージアップにつなげる。

1 企画展示事業

令和7年度の企画展示は、収蔵品展も含めて新たに6回開催。本年の龍馬生誕190周年の機会を生かした龍馬を巡る要人たちの評伝をはじめ、郷土坂本家と土佐藩ゆかりの歴史資料群や、没後160年の武市半平太の勤王活動をテーマとする展示を組み上げる。常設展示の更新も含めて質の高い展示の構成に取り組み、来館者の増加と満足度の向上につなげる。

事業名	目 的・内 容	実施期間
「天誅展 ―土佐藩の奔走―」展	令和6年度の最後の企画展の継続。 文久2年以降、京都では「天誅」が頻発。これには土佐藩はじめ多くの勤王派の志士が関わりました。政治主導の活路とした「天誅」の実態や幕府と土佐藩の対応などを紹介します。 ＜主な展示品＞ ・ 「吉田東洋の首級に添えられた斬奸状（写）」、「海南政典」など（高知市民図書館蔵） ・ 「公用簿」（当館蔵 土佐藩京都藩邸資料） ・ 「天誅絵巻」、「新選組袖章」など（霊山歴史館蔵） ・ 「武市半平太書状」（高知城歴史博物館蔵）	R7.4.1 （火） ～ R7.4.6（日） （6日間）

「幕末維新期の写真」展	写真は、西洋から幕末の日本に伝来してきた新しい技術でした。 現代にも通じるこの“写真文化”の始まりや、龍馬やゆかりの人たちの生前の肖像を紹介しながら、龍馬を巡る人脈や幕末維新期の息吹を紹介します。 <主な展示品> ・坂本龍馬座像写真、大久保利通写真、福沢諭吉写真など（当館蔵・坂井直常アルバム） ・島村寿之助写真原板、溝渕広之丞写真、長岡謙吉写真など（当館蔵） ・坂本直寛写真原板、寺田屋お登勢写真、お龍写真、坂本権平写真、近江屋写真（坂本家寄託資料）	R7.4.19 （土） ～ R7.6.1 （日） （44 日間）
収蔵品展① 「土佐藩京都藩邸史料」展	幕末京都の治安維持を巡る土佐藩の役割や活動・事件を紹介します。 <主な展示品> ・清和院門警固申渡写（土佐藩の御所警衛に関わる文書の写し） ・麻田時太郎（土佐藩士）供述書 （会津藩と土佐藩との間で起きた傷害事件で、両藩の破盟に至りかねない「明保野亭事件」の当事者） ・伏見奉行所報告書写 （京都守護職の会津藩、京都所司代の桑名藩、京都町奉行所から探索によって得た龍馬を巡る情報を、本藩や江戸藩邸に送った文書の写し） （以上、当館蔵 「土佐藩京都藩邸史料」）	R7.6.11 （水） ～ R7.7.10 （木） （30 日間）
「半平太と京都」展	武市半平太の没後160年を機にする企画展。半平太が藩政に台頭し、文久2年から勤王を掲げて異例の登用で京都で築いた足跡や人脈を辿り、その政治活動の実態を紹介します。 <主な展示品> ・武市半平太書簡（高知県立歴史民俗資料館蔵） ・武市半平太山水図（佐川町立青山文庫） ・文久改革 新增細見京絵図大全 完（当館蔵） ・姉小路公知 一行書（当館蔵）	R7.7.19 （土） ～ R7.9.15 （月・祝） （59 日間）

収蔵品展② 龍馬生誕190年 「龍馬の評伝」展	龍馬は大仕事を陰で支える役回りでその功績は公式記録には残りにくいため、伝説と実像とが交錯しています。そこで、実際に龍馬と交流のあった要人たちの言葉などから龍馬の実像に迫り、紹介します。 <主な展示品> ・龍馬を巡る要人たちの評伝（パネル展示） ・後藤象二郎書、佐々木高行書、土方久元書、勝海舟書、大久保一翁書、木戸孝允書簡（複製）など （以上、当館蔵）	R7.9.20 （土） ～ R7.11.24 （月・祝） （66日間）
「柳内良一コレクション ー維新資料の蒐集 にかけた40年ー」展	関西の元教員で柳内良一氏（故人）が生涯を通して蒐集した幕末史ゆかりのコレクション史料を数多く公開。柳内氏の足跡をたどりながら、その史料群の魅力を紹介します。 <主な展示品> ・浪士文久報国記事 ・戊辰戦争関係資料 ・錦絵 ・制札 ・土佐藩住吉陣屋関係資料など （以上、当館蔵）	R7.12.4 （木） ～ R8.2.1 （日） （60日間）
「郷土坂本家の秘蔵」 展	龍馬の実家である郷土坂本家は、明治31（1898）年に北海道へ移住しました。同家では、6代目当主・坂本弥太郎の時に龍馬直筆資料や関係資料の一部を京都国立博物館へ寄贈しました。このたび、同家のご協力を得て、龍馬の家族や西郷隆盛、勝海舟ら先人ゆかりの資料群を紹介します。 <主な展示品> ・坂本直行スケッチブック、坂本直行ブロンズ像 ・坂本家アルバム ・西郷隆盛書 ・公文菊僊画 坂本龍馬肖像画 賛 東郷平八郎 ・公文菊僊画 勝海舟肖像画、桂小五郎肖像画、吉村虎太郎肖像画、山内容堂肖像画 ・恩賜京都国立博物館 寄贈品目録など （以上、坂本家寄託資料）	R8.2.11 （水・祝） ～ R8.3.31 （火） （49日間） （R8.4.7 （火）まで 開催）

2 調査研究事業

展示の充実に向け、新たな展示テーマの設定やすそ野の拡大も含めて県内外の関係施設や機関との連携も図り、龍馬と幕末の歴史を巡る研究に取り組み、専門性の向上を図る。

龍馬の実像や幕末史の解明に関する研究等の成果を主に企画展を軸に発表し、理解の促進や幕末史ファンのすそ野拡大と、館事業の一連の取り組みにも連動させてステージアップにもつなげる。また、令和8年度のよさこい高知文化祭に向けての調査と研究を進める。

これらの成果は企画展示や図録・研究紀要などで公開するとともに、顕彰施設らしい企画の事業化にも生かす。

3 学習・普及事業

【館だより「飛騰」の発行】

館の企画展情報や学芸員の研究の成果とコラムをはじめ、現代龍馬学会などでの研究や講演の発表内容等をまとめた館だより「飛騰」を年4回発行し、公共施設や研究者・団体などに広く配布する。

【講演会の開催】

各企画展ごとに、記念講演会として研究者等を招聘し講演会を開催する。会期中には、学芸員によるWEBを活用した配信も含めた展示解説を行う。

幕末史をテーマに当館学芸員を含めて県内外の研究者による複数回の講演会を連続して行う連続講演会（第8回目）も開催する。両タイプの講演の内容は、講師のご協力をいただき、期間限定のYouTubeでの配信サービスを行う。

【生涯学習等の主な取り組み】

館の職員を主体に、小学校や各放課後児童クラブなどを対象に、オンラインの活用を含めて講話や紙芝居による「出前教室」を実施する。

小・中・高校生をはじめ団体来館者には、龍馬紹介の映像や学芸員の案内を交えて、龍馬や幕末の歴史の理解と、より印象に残る館内見学に取り組む。

学芸員の県内外の文化教室や大学等への講師派遣をはじめリファレンスサービスへの対応に取り組み、地域学習・生涯学習への支援を実施する。

学校や教育委員会等の協力も得て、県内外の校外学習先としての児童生徒の受け入れとその企画にも取り組む。

4 誘致・広報

来館者アンケートでは概ね、ホームページやSNSといったWEB情報などをもとに来館する人が約3割、新聞・雑誌・TVなどメディアによるものが約2割、チラシ・ポスターが約1割となっている。

- (1)このため、①メディアを活用した記事化・ニュース化・番組協賛の取り組みに加えて、
②スマホ用ホームページの充実による企画展やイベントの広報をはじめ、
③PR動画や、展示解説、見どころのWEB配信、
④SNSなどによるバナーやターゲティング広告
といったデジタル技術の活用を進める。

- (2)また、県や高知市等の観光キャンペーンなどの各種施策にも呼応し、企画展や時節に
応じて、県内外の児童生徒やファミリー層の来館増に向けたシーズンイベント
(（例）学芸員によるギャラリートーク、ガイド案内、クイズラリー、手仕事ワークショップや、龍馬へのメッセージ)などの企画とPRに取り組む。

(3)県内外の旅行会社等の商品造成に役立つ広報活動や、旅行会社の販売網を生かす商品化提案に取り組み、インバウンドを含めた誘客につなげる。

5 観光振興

以上の取り組みに合わせて、桂浜エリア（リニューアルした桂浜公園、龍馬像、水族館、浦戸城址等）をはじめ、県内の観光資源を組み込んだ周遊プラン化や館内のインバウンド観光向けの多言語表記の磨き上げなどに取り組み、県内外からの観光誘客にも生かす。

6 入館料

区 分	観覧料（1人1回）		備 考
	企画展あり	企画展なし	
一 般 （18才以上の者。ただし、高等学校の生徒その他これに準ずるものを除く）	900円	500円	
団 体 （20人以上の団体）	720円	400円	

<観覧料全額免除等の対象者>

高知県・高知市の長寿手帳（65歳以上）所持者、身体障害者手帳所持者及びその介護者1名
療育手帳所持者及びその介護者1名、精神障害者保健福祉手帳所持者及びその介護者1名
戦傷病者手帳所持者及びその介護者1名、被爆者健康手帳所持者及びその介護者1名
高校生以下の児童・生徒

Ⅲ 事務分担表

令和7年4月1日現在

館 長 吉村 大 副館長 廣瀬 成典		4 年 (4 年) 3 年 (3 年)		
課名	分 担 事 務	職 名	氏 名	勤務年数
学芸課	学芸課業務の総括	学芸課長	三浦 夏樹	27 年 (27 年)
	常設展及び企画展の企画・実施 展示資料の整備・保全 資料の収集・保存・調査研究 資料の貸出・修復 資料のデジタル化・データベースの整備 研究成果の公表（紀要・広報誌等） 教育普及事業 展示解説・リファレンスサービスの提供 その他学芸業務全般	学芸員	上村 香乃	2 年 (2 年)
		学芸員	安岡 達仁	1 年 (1 年)
		学芸員	小部 さくら	0 年 (0 年)
	資料の整理補助 学芸業務補助 総務企画業務補助	契約職員	谷本 弥生	2 年 (2 年)
	館の管理運営全般 総務・企画業務の総括	総務企画課長 (副館長兼務)	廣瀬 成典	3 年 (3 年)
総務 企画 課	経理・契約・執行管理 監査・統計 施設・設備・システムの管理 各種会議等の公的行事 記念館事業の企画・実施	主査 (総務係・企画係)	片岡 愛華	1 年 6 月 (1 年 6 月)
	指定管理会計の予算・決算 事業会計の予算・決算 旅行券契約・精算 観覧料の収納 物販事業 物品の管理 ホームページの作成・管理 総務・旅費・その他庶務業務 施設・設備・システムの管理補助 記念館事業等の企画・実施補助 入館者の受付・案内補助 その他の業務補助	契約職員	渡辺 曜子	32 年 7 月 (32 年 7 月)
		契約職員	中村 昌代	20 年 10 月 (19 年)
		契約職員	上戸 有里	18 年 2 月 (18 年 2 月)
		契約職員	西川 知佐	4 年 (4 年)
		契約職員	野村 瑞穂	3 年 (3 年)
	企画広報業務全般 記念館事業の企画・実施 常設展及び企画展関連事業の企画・実施 誘客 P R 教育普及事業	主査 (企画係) (学芸課兼務)	竹田 綾	1 年 9 月 (1 年 9 月)
	入館者の受付・案内・集計 入館状況の整理・集計 入館料減免 企画広報業務補助 記念館事業等の企画・実施補助 館内の案内補助 教育普及事業補助 学芸業務補助 物販業務補助 その他の業務補助	契約職員	手島 ゆか	32 年 10 月 (32 年 10 月)
		契約職員	宮崎 圭子	20 年 (10 年)
		契約職員	小島 千穂	16 年 (16 年)
		契約職員	佐々木 恵	15 年 2 月 (15 年 2 月)
		契約職員	松本 友	7 年 1 月 (7 年 1 月)
		契約職員	横山 理恵	0 年 (0 年)

IV 令和6年度事業実績

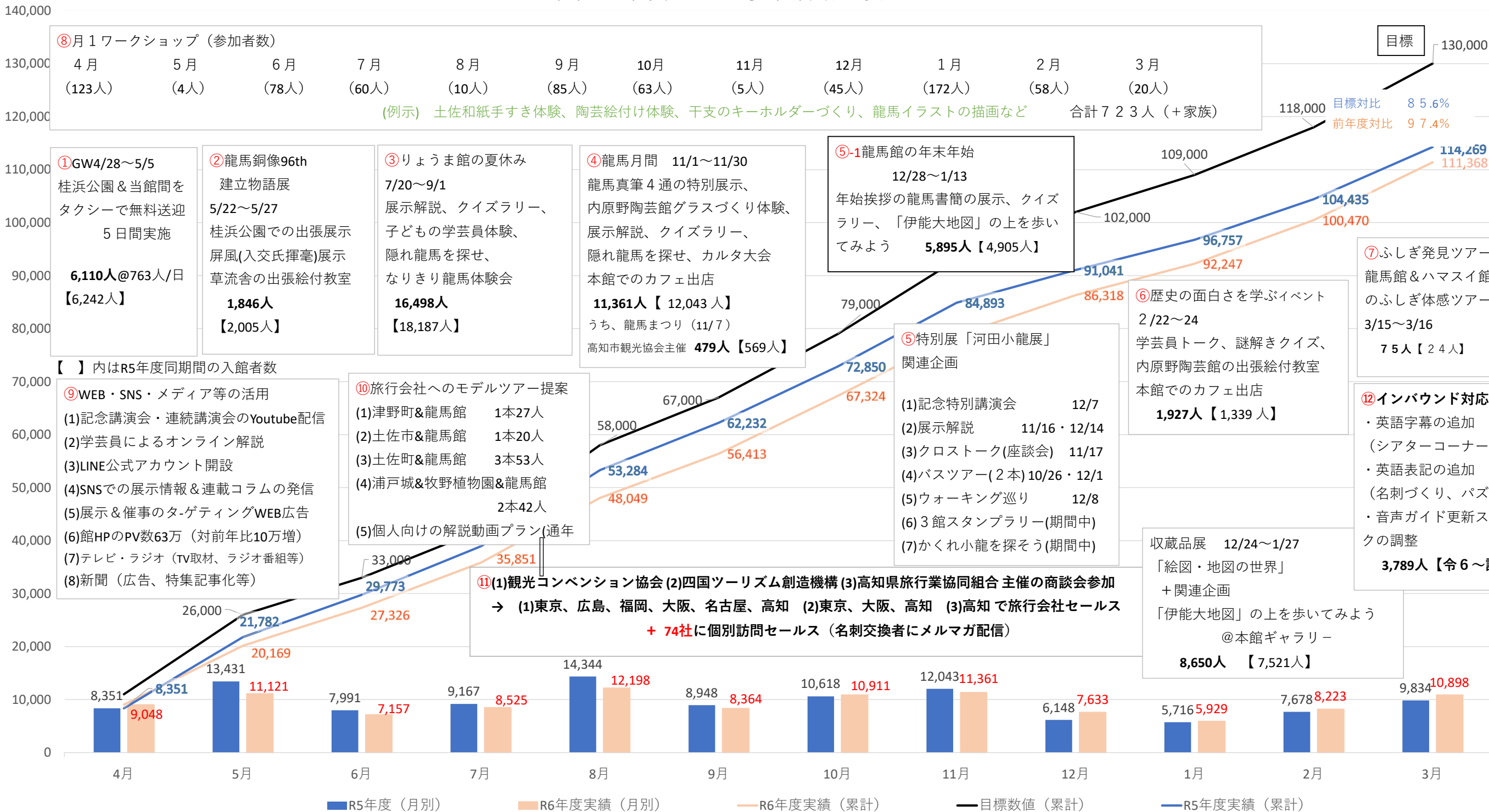
1 総括

- ① 当館は、新しい第5期指定管理事業計画の重点ポイントに「展示の充実」を掲げ、常設展示室の更新や、初
 の他館との連携特別展や収蔵品展の開催など、これまでにない取り組みを実施した。
- ② 常設展示室では、当館が所蔵する龍馬真筆書簡14点の資料の定期的な更新や、龍馬最晩年の手紙4点の
 特別展示により、来館者の満足度の向上につなげた。
- ③ 企画展示は、初の県立美術館・歴史民俗資料館・坂本龍馬記念館の連携特別展となる「3館連携企画－生誕
 200年 河田小龍－龍馬に世界を教えた男」展などの新たな4つの企画展に加えて、当館の収蔵資料を活用す
 る初めての収蔵品展を2回開催した。
- ④ 収蔵・研究では、展示テーマに長府藩や天誅事件を取り上げ、幕末史の内幕を考察した。また、龍馬真筆の
 手紙の複製制作や、寄託の受け入れによる資料の充実を行うとともに、寄託・寄贈の申し出のある資料調査に
 より、郷土坂本家の所蔵品の一部について、寄託の目途をつけることができた。
- ⑤ 教育普及では、○「企画展示」や「幕末再入門」をテーマにそれぞれ、記念講演会や連続講演会の開催
 (全9回)、○小学生を対象とした「出前授業」や、修学旅行・遠足などで当館を校外学習の場として利用
 された学校への解説の実施、○県内外の文化講座等への学芸員の派遣のほか、WE Bによる遠隔学習を含め
 て県外学校での出前授業の実施など、大人から子どもまでが龍馬や幕末の歴史を学んでいただける組み
 めを展開した。○県内の小・中学生にも企画展や、関連企画のチラシを配布して、その周知にも取り組んだ。
- ⑥ 誘致・広報では、関西・中四国圏を中心に県内外の新聞・TV等のメディアを活用し、取材の受け入れを含
 む情報発信に取り組んだ。デジタル活用のPR方策としては、SNSによる企画展やイベント情報の発信でホ
 ームページにも誘導、講演会や学芸員の常設展・企画展の展示解説と見所ポイントのWE B配信も行った。
 また、県内の方々を中心に、歴史に親しむ場として当館を利用していただけよう、企画展を押し出した
 「月いちワークショップ」の企画や、歴史の面白さを学ぶ体験型のシーズナルイベントを開催し、年間を通
 じて切れ目なく、桂浜公園内の事業者とも連携しながら当館と公園全体への誘客にも取り組んだ。
 加えて、旅行会社に向けては、県内外の観光商談会への参加や個別の訪問セールスをはじめ、モニターツ
 アーの受け入れ、メールマガジンの配信や、ツアー企画の提案活動などを実施した。
- ⑦ これら一連の取り組みを通して、坂本龍馬の顕彰施設としてのステージアップと県内外からの来館者の増
 加に向けて取り組んだ。

2 利用状況

展覧会	入館者 (人)	観覧料収入 (千円)	備 考
常設展・企画展	111,368	53,970	(入館者内訳) 一 般 : 78,296人 団体 : 11,868人 18歳未満 : 10,855人 長寿手帳 : 2,265人 優待 : 8,084人

令和6年度 主な事業活動一覧



【連続講演会】

(1)「龍馬の真髓」(11月) (2)「土佐藩主山内家官位考」(12月) (3)「自由民権150年ー自由は土佐の山間よりー」(1月) (4)「シーボルトと近世日本ー生涯・功績・遺産ー」(2月) (5)「歴史人の書を鑑賞するー幕末維新期の人物を中心にー」(3月) 参加者計153人

令和6年度 企画展示 ◎収蔵品数 約5千点余 直筆書簡 脇差・武具 海援隊約規 書画・彫塑 土佐藩邸史料 ほか	常設展（通年） 「龍馬の生涯 と幕末」展 ・展示数70点 ・幕末史を 時系列に辿り 龍馬の足跡と 功績を紹介す る展示構成	4月19日（金）～6月25日（火） 「記念館の蔵出し－学芸員 セレクション－」展 ・展示解説 ・記念講演会 73人	7月5日（金）～9月1日（日） 「龍馬と長府藩」展 ・展示解説 ・記念講演会 44人	9月10日（火）～10月14日（月） 新 収蔵品展Ⅰ 「土佐の文芸－龍馬ゆかりの 人たちを中心に－」	10月23日（水）～12月15日（日） 特別展 3館連携企画 「生誕200年河田小龍 龍馬に世界を教えた男」展 ・展示解説 ・記念講演会 55人	12月24日（火）～1月27日（月） 新 収蔵品展Ⅱ 「絵図・地図の世界」 ・展示解説	2月6日（木）～ 「天誅-土佐藩の 奔走-」展 ・展示解説 ・記念講演会 60人
		研究紀要の発行・「現代龍馬学会」研究発表、出前授業訪問 11校・629人、校外学習受入れ 29校・1,409人					

収 支 計 算 書

令和 6 年 4 月 1 日から 令和 7 年 3 月 31 日まで

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 事業活動収入				
事業収入				
観覧料収入	66,467,000	53,969,610	12,497,390	
使用料収入	129,000	201,560	△ 72,560	
手数料収入	240,000	260,583	△ 20,583	
販売収入	1,281,000	1,466,875	△ 185,875	
雑収入	444,000	481,022	△ 37,022	
事業収入計	68,561,000	56,379,650	12,181,350	
補助金等収入				
受託収入	184,833,000	179,022,926	5,810,074	
助成金収入	0	112,266	△ 112,266	
補助金等収入計	184,833,000	179,135,192	5,697,808	
寄付金収入				
寄付金収入	0	100,000	△ 100,000	
寄付金収入計	0	100,000	△ 100,000	
事業活動収入計	253,394,000	235,614,842	17,779,158	
2. 事業活動支出				
(1) 事業活動支出				
事業費支出				
事 諸謝金支出	1,624,000	1,314,173	309,827	
事 会議費支出	139,000	75,262	63,738	
事 旅費支出	2,342,000	2,296,365	45,635	
事 交際費支出	44,000	0	44,000	
事 消耗品費支出	7,768,000	6,148,316	1,619,684	
事 印刷製本費支出	5,796,000	5,794,220	1,780	
事 通信運搬費支出	2,599,000	2,464,520	134,480	
事 手数料支出	100,000	0	100,000	
事 保険料支出	56,000	22,390	33,610	
事 広告料支出	6,308,000	5,869,717	438,283	
事 委託料支出	18,777,000	14,320,838	4,456,162	
事 使用料及び賃借料支出	2,361,000	2,360,900	100	
事 負担金補助及び交付金支出	320,000	300,000	20,000	
管 給料支出	50,504,000	48,086,970	2,417,030	
管 職員手当支出	27,098,000	20,489,292	6,608,708	
管 賃金支出	1,427,000	1,426,956	44	
管 法定福利費支出	12,536,000	11,263,097	1,272,903	
管 諸謝金支出	126,000	63,000	63,000	
管 会議費支出	60,000	1,977	58,023	
管 旅費支出	102,000	89,804	12,196	
管 交際費支出	200,000	92,771	107,229	
管 消耗品費支出	3,684,000	2,693,784	990,216	
管 修繕費支出	1,200,000	634,822	565,178	
管 燃料費支出	78,000	77,136	864	
管 水道光熱費支出	26,502,000	23,772,763	2,729,237	
管 通信運搬費支出	368,000	172,724	195,276	
管 手数料支出	901,000	687,673	213,327	
管 保険料支出	995,000	523,930	471,070	
管 委託料支出	62,237,000	58,595,981	3,641,019	
管 使用料及び賃借料支出	7,353,000	5,242,544	2,110,456	
管 負担金補助及び交付金支出	131,000	131,000	0	
管 租税公課支出	9,691,000	9,206,758	484,242	
事業費支出計	253,427,000	224,219,683	29,207,317	
事業活動支出計	253,427,000	224,219,683	29,207,317	
事業活動収支差額	△ 33,000	11,395,159	△ 11,428,159	

収 支 計 算 書

令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
指定寄付金取崩収入	5,000,000	0	5,000,000	
特定資産取崩収入計	5,000,000	0	5,000,000	
投資活動収入計	5,000,000	0	5,000,000	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	3,191,000	3,191,000	0	
特定費用準備資金取得支出	0	6,270,000	△ 6,270,000	
特定資産取得支出計	3,191,000	9,461,000	△ 6,270,000	
固定資産取得支出				
什器備品購入支出	1,776,000	1,662,878	113,122	
固定資産取得支出計	1,776,000	1,662,878	113,122	
投資活動支出計	4,967,000	11,123,878	△ 6,156,878	
投資活動収支差額	33,000	△ 11,123,878	11,156,878	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	0	271,281	△ 271,281	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	271,281	△ 271,281	

年間利用者数（高知県立坂本龍馬記念館）

単位：人

年 度	一 般	団 体	18歳未満	長寿手帳※1	優待 ※2	年間観覧券	合 計
H28	83,596	23,407	14,242	1,958	8,077	-	131,280
H29	(リニューアル工事のため休館)						0
H30	118,062	45,540	18,540	9,959	16,850	-	208,951
R1 (H31)	95,185	26,425	15,353	4,882	12,845	-	154,690
R2	38,852	3,043	9,449	601	6,324	-	58,269
R3	40,321	2,177	14,062	2,043	5,097	-	63,700
R4	71,756	6,946	14,805	2,160	8,234	-	103,901
R5	80,419	12,411	11,302	2,089	8,048	-	114,269
R6	78,296	11,868	10,855	2,265	8,084	-	111,368
R7(11月末時点)	62,488	9,550	8,796	1,187	6,314	-	88,335

※1・高知県または高知市の長寿手帳所持者

※2・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
 戦傷病者手帳、被爆者健康手帳の所持者及び介護者
 ・学校教育引率者、観光特使、その他優待（行政視察等）

3 企画展示

企 画 展 名	期 間	日数	入館者数 (人)
「錦絵に見る幕末維新―絵師と庶民の徳川幕府」展	R6.4.1 (月) ~4.7 (日)	7	2,007
「龍馬記念館の蔵出し―学芸員セレクション」展	R6.4.19 (金) ~6.25 (火)	68	21,963
記念講演会 「坂本龍馬 33 年、中岡慎太郎 30 年― 両館の所蔵資料から見た二人の生涯」 講師：中岡慎太郎記念館 係長・学芸課長 豊田満広氏	R6.6.15 (土)		73
担当学芸員による展示解説	R6.6.1 (土) の 1 回		15
「龍馬と長府藩」展	R6.7.5 (金) ~9.1 (日) (うち、休館 2 日 (台風))	59	20,418
記念講演会 「坂本龍馬と長府藩」 講師：下関市立歴史博物館 館長 古城春樹氏	R6.8.3 (土)		44
担当学芸員による展示解説	R6.7.27 (土)、8.3 (土) の 2 回		35
収蔵品展 vol. 1 「土佐の文芸―龍馬ゆかりの人たちを中心に―」	R6.9.10 (火) ~10.14 (月・祝)	35	11,564
特別展 「3 館連携企画―生誕 200 年 河田小龍―龍馬に世 界を教えた男」展 ※県美・歴民・龍馬館初の 3 館連携企画展 ＜関連企画＞ バスツアー (2 本：県内旅行会社 2 社) スタンプラリー 他	R6.10.23(水)~12.15(日)	54	17,994
記念講演会 (3 館連携講演会) 「舞台は回る、激動の時代の美術」 静岡県立美術館 館長 木下直之氏	R6.12.7 (土)		55
担当学芸員による展示解説	R6.11.16 (土)、12.14 (土) 2 回 (AM・PM) の計 3 回		24

企 画 展 名	期 間	日数	入館者数 (人)
収蔵品展 vol. 2 「絵図・地図の世界」 ＜関連企画＞ 「伊能大図展―地図の上を歩いてみよう」 (本館2階)	R6.12.24(火)～R7.1.27(月) (うち、休館1日(設備メンテ))	35	8,650
担当学芸員による展示解説	R6.12.29(日)、R7.1.3(金) の2回		55
「天誅―土佐藩の奔走―」展	R7.2.6(木)～3.31(月)	54	18,323
記念講演会 「幕末土佐藩と『人斬り』―政治行動と 政治空間への視角―」 講師：京都産業大学 准教授 笹部昌利氏	R7.3.29(土)		60
担当学芸員による展示解説	R7.2.22(土)、3.29(土) の2回		50
展示替えによる企画展示室等閉室中における常設展 示室のみの観覧期間		53	10,449
(うち、自然災害等のための臨時休館)		(3)	

4 調査研究

事 業 名	内 容	実 施 日	参加数
令和6年度収蔵資料	・寄託 4件 (漂客奇談、漂流人帰国話説 など) ・複製 1件 (坂本龍馬書簡 慶応3年2月13日 寺田屋登勢宛) ※R5～6年度で制作。	—	—
高知県立坂本龍馬記念 館・現代龍馬学会	・第16回目の現代龍馬学会の総会を開催し、龍 馬研究の水準を高め、龍馬の真実を追求し、そ の精神を現代に生かすための取り組みを行っ た。 ・年4回開催の企画展・特別展の記念講演会を 同学会の研究発表との共催とした。また、講演 会のWEB配信と講演・研究要旨の広報の取り組 みを行った。 ＜①総会・研究発表会＞ (企画展における記念講演会：共催・再掲) ・「坂本龍馬33年、中岡慎太郎30年 ―両館所蔵資料から見た二人の生涯」 講師 中岡慎太郎記念館 係長・学芸課長 豊田満広氏	①R6.6.15 (土)	①延べ 167人

事業名	内 容	実 施 日	参加数
	(研究発表) ・「史料から龍馬脱藩をもう一度考える」 講師 知野文哉氏(坂本龍馬研究家) <記念講演会(共催・再掲)> ②「坂本龍馬と長府藩」 講師 下関市立歴史博物館 館長 古城春樹氏 ③「舞台は回る、激動の時代の美術」 講師 静岡県立美術館 館長 木下直之氏 ④「幕末土佐藩と『人斬り』 ー政治行動と政治空間への視角ー」 講師 京都産業大学 准教授 笹部昌利氏	②R6.8.3(土) ③R6.12.7(土) ④R7.3.29(土)	②44人 ③55人 ④60人

5 学習・普及

事業名	内 容	実 施 日	参加数
連続講演会(全5回) テーマ: 幕末再入門	・令和6年度で7回目を迎える連続講演会(全5回)を実施した。 ・今年度は、「幕末再入門」とテーマを広く設定し、幕末維新期を様々な角度から眺められるよう5人の研究者に登壇していただき、県民をはじめ多くの方々に幕末史についての理解を深めていただいた。 ①「龍馬の真髓」 講師:当館学芸課長 三浦夏樹 ②「土佐藩主山内家官位考」 講師:当館学芸員 安岡達仁 ③「自由民権150年ー自由は土佐の山間よりー」 講師:高知市立自由民権記念館 館長 筒井秀一氏 ④「シーボルトと近世日本ー生涯・功績・遺産ー」 講師:長崎外国語大学新長崎研究センター 客員研究員 織田毅氏 ⑤「歴史人の書を鑑賞する ー幕末維新期の人物を中心にー」 講師:宮内庁書陵部図書課図書寮文庫第一 図書調査室主任研究官 田代圭一氏	①R6.11.9(土) ②R6.12.14(土) ③R7.1.18(土) ④R7.2.15(土) ⑤R7.3.15(土)	①30人 ②30人 ③34人 ④29人 ⑤30人
出前授業	<当館の学芸員による出前授業> ・県内の小学校や放課後児童クラブなどに出向き、紙芝居や幕末・坂本龍馬・当館の説明を行った。 ・園児や小学校低学年、教師・保護者など幅広い年代を対象にしており、わかりやすい説明を行うことによって、周知・理解を深めた。 ・県外の学校でも、引き続き出前授業を実施した。 ・県外学校の事前学習として、来館日前にズームを活用した遠隔授業を実施した。 ①出前教室(県内) 9校(13回)	通 年	" ①452人

事業名	内 容	実 施 日	参加数
	②出前教室（県外） 2校（2回）（東京都品川区） ③ズーム遠隔学習（県外） 1校（1回）（兵庫県神戸市）		②158人 ③19人
夏休み「りょうま工作教室」等	・子ども達の夏休みの宿題（自由研究や工作など）を応援するとともに、当館や幕末の歴史に興味を持ってもらうために、「子ども学芸員体験」「りょうま工作教室」を企画・実施した。 ①子ども学芸員体験（2回） 当館の学芸員の仕事の体験 ②夏休み「りょうま工作教室」（2回） 対象：小学生 講師：当館の学芸員など 内容：フェルトで指人形づくり、 トントン紙ずもうづくり	①R6.7.27(土) 8. 4(日) ②R6.8. 3(土) 8.24(土)	①7人 8人 ②20人 5人
学習遠足支援事業	・県内の小学生・中学生・高校生が坂本龍馬や幕末史を知るため、バスを借り上げて来館した学校に対して、その借り上げ費用の一部を助成した。 ・より多くの児童・生徒に当館を歴史学習の場として活用してもらえるように、今年度から補助上限額（4万円）を複数台数に適用するよう支援内容を拡充した。	通年	12校 (23台)
校外学習支援事業	・坂本龍馬や幕末史を学ぶための遠足や修学旅行などの場として、県内をはじめ中四国・関西・関東などから小・中・高等学校等が来館した。 ・来館する児童・生徒には希望に応じて事前に学芸員が坂本龍馬について解説をしたDVDの貸し出しや、ガイド案内を行った。 ・来館時には龍馬の生涯や業績をまとめたパンフレットを全員に配布した上で観覧を行っている。	通年	29校 1,409人 <県内> 19校964人 <県外> 10校445人
館広報誌「飛騰」の発行	・年4回発行した。 （館のトピックスやイベント、学芸員の研究要旨・コラム、企画展の紹介 など）	①R6.4.1（月） ②R6.7.1（月） ③R6.10.1（火） ④R7.1.1（水）	—

事業名	内 容	実 施 日	参加数
文化講座等への講師派遣	・坂本龍馬や土佐の幕末史などについての理解を深めていただくために、学芸員を様々な講演会等の講師として派遣し、坂本龍馬の歴史的役割や、幕末史の意義深さに対しての関心や、さらなる理解を促進した。 ①高知県立高知追手前高校（追手前高校） 令和6年度「追手前ゼミナール（出張講義）」 『書状から歴史に迫る —歴史を「研究」するとは？—』 ②岩倉具視幽棲旧宅（京都市） オンライン歴史講演会「幕末の京都所司代」 ③（公財）高知県文化財団総務部（県立美術館） 令和6年度第1回高知県文化人材育成講座 「はじめよう！歴史で町おこし」 ④土佐藩ゆかりの会（高知市内） 「薩長同盟における坂本龍馬の役割」 ⑤中岡慎太郎館（北川村） 「周旋家 坂本龍馬」 ⑥松浦武四郎記念館（三重県松阪市） 「龍馬が求める人材」	①R6.6.22（土） （2回） ②R6.8.24（土） ③R6.9.21（土） ④R6.11.8（金） ⑤R7.1.19（日） ⑥R7.2.9（日）	6件 (7回)

6 その他の実施事業

事業名	内 容	実 施 日	参加人数
館収蔵資料の入れ替え展示	・館が所蔵する龍馬真筆書簡 14 点の資料を定期的に入れ替えて更新し、魅力ある展示を行った。 ①R6. 4.1（月） 2 点 ・権平宛 慶応3年6月24日 ・乙女宛 慶応3年4月7日 ②R6. 6.1（土） 2 点 ・乙女・春猪宛 文久3年秋頃（推定） ・池内蔵太宛 慶応元年夏（推定）22日 ③R6. 8.1（木） 2 点 ・乙女宛 慶応元年夏（推定） ・寺田屋お登勢宛 慶応3年2月13日 ④R6.10.1（火） 2 点 ・乙女宛 慶応元年秋（推定） ・陸奥宗光宛 慶応3年11月（推定）13日 ⑤R6.12.1（日） 2 点 ・池内蔵太宛 慶応元年夏（推定）22日 ・後藤象二郎宛 慶応3年11月 ⑥R7. 2.1（土） 2 点 ・乙女宛 慶応元年夏（推定） ・権平・おとめ・おやべ宛 慶応元年9月7日 ・常設の展示品も要人の書画や海援隊日史などに更新。	6回	—

事業名	内 容	実 施 日	参加人数
第 51 回龍馬まつり in 桂浜の協賛	・（公財）高知市観光協会が実施する「第 51 回龍馬まつり in 桂浜」に協賛し、桂浜公園の各事業者等と連携した誘客や、桂浜全体の賑わいづくりの一端を担った。 ・「3 日間限定 慶応 3 年 11 月龍馬書簡」特別展示（4 点）（11/15～17） ・後藤象二郎宛 慶応 3 年 11 月 ・林謙三宛 慶応 3 年 11 月 10 日 ・林謙三宛 慶応 3 年 11 月 11 日 ・陸奥宗光宛 慶応 3 年 11 月 13 日 ・ワークショップ「龍馬のイラストを描いてみよう」（11/16） ・内原野陶芸館の出張サンドブラスト体験（11/17） ・りょうまカルタ大会（11/17） ・海に見えるカフェ（11/17）	R6.11.15(金) ～17（日）	参加者 1,738 人 (当日入館者数)
龍馬月間	坂本龍馬記念館の開館 33 周年に、11 月 1 日（金）から 30 日（土）の間を「龍馬月間」として、記念イベントを実施し誘客を促した。 ・開館記念日 無料開館（11/15） ・学芸員による展示解説、クイズラリーの実施（11/2, 3, 4, 9, 10, 23, 24, 30）（以下、再掲） ・「3 日間限定 慶応 3 年 11 月龍馬書簡」特別展示（4 点）（11/15～17） ・ワークショップ「龍馬のイラストを描いてみよう」（11/16） ・内原野陶芸館の出張サンドブラスト体験（11/17） ・りょうまカルタ大会（11/17） ・海に見えるカフェ（11/17）	R6.11.1（金） ～30（土）	参加者 11,361 人 (期間入館者数)
ウォーキング・史跡巡り	・県内の史跡を巡り、幕末を中心とする歴史に関心を深めてもらうためのウォーキングツアーを実施した。 ・今年度は、特別展「3 館連携企画－生誕 200 年 河田小龍－龍馬に世界を教えた男」展に合わせて、小龍誕生地「はりまや町」を学芸員が解説しながら巡り、地域の史跡や見所の魅力を再発見した。	R6.12.8(日)	参加者 21 人

事業名	内 容	実 施 日	参加数
その他、誘客促進のためのイベント等の企画・実施	・当館を広報・PR し、新たな客層を含めて当館への誘客を促進するための取り組みを企画実施した。 ・その際には、桂浜公園内の事業者とも連携しながら公園全体への誘客に取り組んだ。 <シーズナルイベント> ①「龍馬像建立物語」展 桂浜公園での出張展示 司馬遼太郎氏のメッセージの特別展示 (入交好保氏揮毫) ②坂本龍馬像ハッピーバースデー 龍馬だるま絵付け体験、ご当地風景印を送ろう ③龍馬館の夏休み 夏休み工作教室(再掲)、学芸員体験(再掲) クイズラリー、隠れ龍馬を探せ ④龍馬館のお正月 一絃琴演奏会、新春書初め大会、クイズラリー、 年始あいさつの龍馬書簡の展示 など ⑤高知龍馬マラソン応援企画 マラソンランナーや関係者を優待 ⑥歴史の面白さを学ぼう 学芸員レクチャー、謎解きクイズ、隠れ龍馬を探 せ、手仕事ワークショップ など ⑦ハマスイとりょうま館のふしぎ体感ツアー 桂浜水族館と当館の学芸員によるガイドツアー <月いちワークショップ> ①缶バッジをつくろう ②龍馬の手紙を写し書きしよう ③オリジナル絵付け皿を作ろう ④オリジナルキーホルダーを作ろう ⑤初めての筆体験 ⑥星形缶バッジを作ろう ⑦ハロウィン帽子を作ろう ⑧龍馬のイラストを描いてみよう ⑨土佐和紙すき体験とクリスマスカードづくり ⑩干支(へび年)のオリジナルキーホルダーづくり ⑪お茶碗の絵付け体験 ⑫シルクスクリーンでオリジナルバックづくり	①5.22(水) ～27(月) ②5.25(土)、 26(日) ③7.27(土) ～9.1(日) ④12.28(土) ～1.13(月・祝) ⑤2.16(日) ～3.31(月) ⑥2.22(土) ～2.24(月・祝) ⑦3.15(土)、 16(日) ①4.28(日) ②5.26(日) ③6.23(日) ④7.28(日) ⑤8.25(日) ⑥9.15(日) ⑦10.26(土) ⑧11.16(土) ⑨12.8(日) ⑩1.4(土) ⑪2.23(日) ⑫3.23(日)	① 1,846 人 (期間入館者数) ② 847 人 (期間入館者数) ③ 14,301 人 (期間入館者数) ④ 5,895 人 (期間入館者数) ⑤ 15,777 人 (期間入館者数) ⑥ 1,927 人 (期間入館者数) ⑦ 75 人 (参加者) ① 123 人 ② 4 人 ③ 78 人 ④ 60 人 ⑤ 10 人 ⑥ 85 人 ⑦ 63 人 ⑧ 5 人 ⑨ 45 人 ⑩ 172 人 ⑪ 58 人 ⑫ 20 人 計 723 人

事業名	内 容	実 施 日	参加数
	<土佐の歴史を巡るバスツアー> ①「星ふるヴィレッジ TENGU×幕末土佐の史跡を巡る旅」 ・学芸員とともに、河田小龍展や県内の史跡を巡るとともに龍馬にまつわる夜空の物語を津野町プラネタリウムで鑑賞 ・催行主体：高知新聞観光 ②「小龍作品探訪 県内バスたび」 ・学芸員とともに、県内に残る小龍作品を訪ね鑑賞する ・催行主体：高知県旅行業協同組合	①10.26（土）～27（日） ②12.1（日）	① 28 人 ② 20 人 計 48 人
広報活動の実施	メディア、WEB・SNS、旅行会社、ポスター・チラシ・パンフレット等を活用した広報活動を行った。 ①テレビ・ラジオ ・各企画展ごとに県内民放テレビ各局の名義主催によるテレビCMや報道の実施 ・県の広報媒体（テレビ・ラジオ）の活用 ・ラジオ番組化（FM高知「海に見える窓から」） ・県外テレビ放送局でのフィラー放送 など ②新聞 ・新聞広告（県内、中四国、九州、関西） ・高知新聞のイベント情報コーナー等への投稿 ・3 館連携特別展の特集記事化 など ③WEB・SNS ・館のSNS・HP（R6：63 万 PV 数）での発信 ・他社（マスコミ等）のSNSでの発信や観光情報サイト等への情報提供 ・展示解説・記念講演会等のオンライン配信 ・LINE公式アカウントの開設 ・WEBによるターゲティング広告 など ④旅行会社 ・観光商談会（県観光コンベンション協会・県旅行業協同組合・四国ツーリズム創造機構の主催）への参加 ・商談会等に合わせて旅行会社への訪問（高知県・愛媛県・香川県・東京都・愛知県・大阪府・岡山県・広島県・福岡県） ・モデルコースと商品化の提案 ・メールマガジンの配信 ・モニターツアーの受け入れ など ⑤その他の媒体 ・歴史系雑誌への広告 ・チラシ・ポスターの配布（関係機関・コンビニ等） ・街頭ビジョン（松山市大街道） など	通年	—

V 年度別・月別入館者数(開館以来)

(単位:人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	年度累計
3								12,904	8,841	15,803	10,870	16,426	64,844	
4	12,611	16,015	8,834	10,712	24,378	9,632	11,576	16,969	4,265	7,105	8,658	17,612	148,367	213,211
5	13,376	19,702	9,357	11,586	27,960	9,914	12,192	12,086	4,271	7,582	7,274	14,323	149,623	362,834
6	10,172	16,598	6,941	7,832	19,046	6,783	11,263	10,530	3,724	5,820	5,772	11,872	116,353	479,187
7	9,927	16,279	8,465	9,526	23,835	9,457	12,243	12,818	3,764	6,745	6,992	12,182	132,233	611,420
8	10,642	16,948	8,722	9,761	24,094	11,261	10,686	12,288	4,404	7,255	6,984	13,253	136,298	747,718
9	10,395	13,126	8,665	9,636	24,804	9,644	12,229	11,311	3,852	6,397	6,431	12,972	129,462	877,180
10	10,108	14,813	7,388	10,800	26,559	8,761	10,761	11,428	4,199	6,239	5,995	12,367	129,418	1,006,598
11	7,891	17,012	6,601	9,310	23,909	7,374	12,573	10,063	3,391	5,955	6,744	11,342	122,165	1,128,763
12	7,918	16,063	6,809	9,970	25,367	10,608	11,986	13,806	4,189	6,897	7,402	10,794	131,809	1,260,572
13	11,849	16,358	6,950	8,872	21,311	8,548	9,770	12,567	4,235	7,826	7,995	10,871	127,152	1,387,724
14	8,646	13,885	5,746	7,643	21,599	11,293	10,129	10,311	3,845	6,047	5,840	11,247	116,231	1,503,955
15	7,421	11,276	7,316	10,119	22,583	10,122	11,276	12,727	3,446	6,483	6,986	12,179	121,934	1,625,889
16	7,878	16,516	6,608	10,530	20,957	9,184	10,864	11,365	3,397	5,382	6,036	10,235	118,952	1,744,841
17	8,595	16,142	6,686	8,522	20,224	9,900	10,796	10,400	4,179	6,331	6,607	11,199	119,581	1,864,422
18	8,605	17,781	7,052	9,933	23,605	10,210	10,952	12,123	7,009	9,996	9,080	13,187	139,533	2,003,955
19	8,754	15,025	7,114	7,855	22,656	11,384	9,879	9,863	5,939	6,882	7,005	10,818	123,174	2,127,129
20	8,354	15,042	7,518	9,124	22,061	12,209	11,226	14,612	7,644	8,201	6,654	11,951	134,596	2,261,725

(単位:人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	年度累計
21	9,653	20,344	9,654	12,986	28,670	20,872	16,371	18,334	11,983	24,110	25,013	49,004	246,994	2,508,719
22	37,088	65,349	34,431	35,612	69,391	39,025	41,217	42,051	19,732	19,548	17,792	21,187	442,423	2,951,142
23	17,346	33,572	17,350	17,367	37,672	17,909	20,257	19,308	10,280	10,584	10,723	16,583	228,951	3,180,093
24	13,196	20,295	9,595	12,313	28,453	12,920	17,224	14,094	9,078	10,009	10,159	14,432	171,768	3,351,861
25	12,599	19,399	10,327	12,348	26,902	12,334	13,890	14,654	8,256	8,229	7,274	12,568	158,780	3,510,641
26	12,386	20,449	9,136	10,627	20,393	11,652	12,356	13,944	7,982	6,795	8,520	12,038	146,278	3,656,919
27	9,311	16,641	8,172	10,799	22,255	14,937	13,826	16,302	8,338	7,536	7,848	12,596	148,561	3,805,480
28	10,658	16,428	9,652	11,209	20,310	9,457	11,807	11,594	6,455	5,845	6,532	11,333	131,280	3,936,760
29	休館													3,936,760
30	10,424	29,805	18,125	13,609	27,553	16,950	18,306	21,591	13,141	12,698	11,370	15,379	208,951	4,145,711
R元	15,842	20,883	11,138	11,687	19,942	11,952	17,064	16,225	9,435	8,676	9,419	2,427	154,690	4,300,401
R2	461	352	1,568	4,470	8,483	6,640	8,159	12,769	6,250	1,893	2,450	4,774	58,269	4,358,670
R3	3,410	4,258	1,822	5,493	6,111	347	7,382	11,451	8,154	4,607	3,165	7,500	63,700	4,422,370
R4	6,549	10,624	5,952	7,800	13,049	7,260	9,546	11,402	7,584	5,665	7,191	11,279	103,901	4,526,271
R5	8,351	13,431	7,991	9,167	14,344	8,948	10,618	12,043	6,148	5,716	7,678	9,834	114,269	4,640,540
R6	9,048	11,121	7,157	8,525	12,198	8,364	10,911	11,361	7,633	5,929	8,223	10,898	111,368	4,751,908
月計	339,464	571,532	288,842	345,743	750,674	365,851	419,335	465,294	225,043	270,786	272,682	436,662	4,751,908	

令和7年度の総観覧者数の数値目標:130,000人

自律性向上に向けた方向性

別紙1

団体名：高知県立坂本龍馬記念館

令和7年4月1日現在

管理 施設	施設名	R6利用者数(人)
	高知県立坂本龍馬記念館	111,368

当館職員数(人)	
プロパー職員	6
県職員OB	2
小計	8
契約職員	12
臨時職員	2
合計	22

●取り組みの方向性

- ・音声ガイドサービスの提供
 - ①「常設展」専用ガイド
 - ②「インバウンド」専用ガイド
- ・プレミアム博物館コーナーの開設
 - ①特別の鑑賞会
 - ・龍馬史実を抽出しその全容を紹介する企画展
 - ・地域との連携(学校・企業等)による偉人企画展
- ・旅行会社との連携ツアー商品の造成
 - ①展示解説付きツアー
 - ②限定オリジナルグッズ付きツアー
 - ③ゆかりの地周遊ツアー
- ・新たなチケットの企画
 - ①外部企画とのセット券など限定チケットの販売
 - ②オンラインによるチケットの販売